

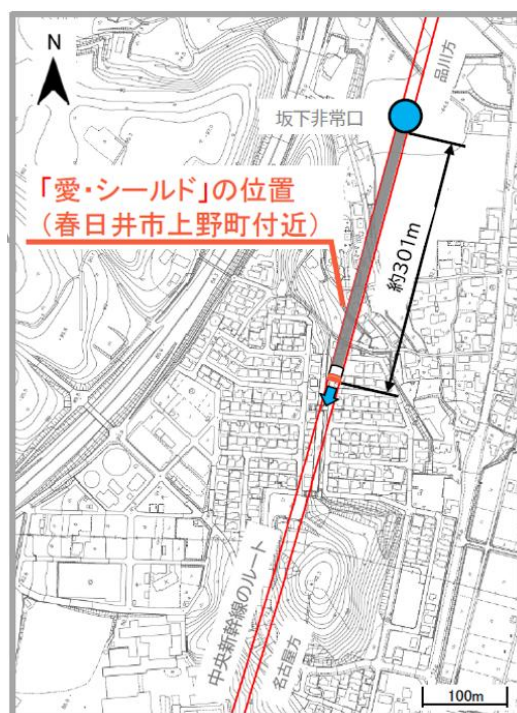
春日井リニアを問う会ニュース

発行 春日井リニアを問う会
2025 年 8 月 10 日 発行 61 号
事務局 川本正彦 0568-83-9261
春日井市関田町 3 丁目 117 番地 1 号

坂下西工区シールドトンネル工事 25 年 6 月 9 日から本掘進始まる。

JR 東海は 244m の調査掘進を終え 6 月 9 日から本掘進工事に入った。8 月 04 日時点で緑が丘住宅地内まで 301m 掘削。(予定は 1 日 20m。1 ヶ月 400m 掘削) 本掘進 2 か月で 57m の進捗

日付	25. 6. 9	25. 6. 23	25. 7. 7	25. 8. 04
本掘進 進捗状況	本掘進始まる	5m	27m	57m
坂下非常口から距離	244m	249m	271m	301m
現在の地点	上野町公民館南	上野町公民館南	緑が丘住宅地内	緑が丘住宅地内



JR 東海は 6 月 2 日、坂下非常口でシールド機の掘削に不可欠なトンネルセグメントを搬入するエレベーター設置工事を行っている最中、シールドトンネル工事発進式(セレモニー)を行いました。

愛知県知事と春日井市長がシールド機の発進スイッチボタンを押した。愛知県知事はシールド機に命名したと浮かれています。

リニアトンネルは、岐阜と愛知の県境から春日井市内 17 キロを縦断して、名古屋市内を 7.6 キロでリニア駅まで計画されています。リニア西尾工区トンネル工事では明知町で地下水が濁る。建物と床にひびが入る、住宅が揺れる、風呂の水があふれる。池の水が枯れる、井戸が枯れる等、影響が起きました。坂下非常口からは住宅地(垂炭鉱廃坑(空洞)の下)の地下をトンネル工事を行うことから、住民は住宅地が陥没しないか懸念を抱いています。このことを愛知県知事と春日井市長は認識しているのでしょうか。式典(セレモニー)では県立春日井泉高校の書道部が揮毫を行いました。リニアのことを本当に分かっている揮毫していたのか？高校生を巻き添えにしてまでリニア事業を美化することは許さるものではありません。東京外環道トンネル工事では、シールド機の振動がすさまじく住民は眠れなくなったと訴えています。春日井市内でも同様なことが起きる可能性があります。開業後、リニアは春日井市内を 500 キロで走りぬけます。騒音と振動。電磁波の影響が懸念されています。リニアは春日井市民にとってメリットはありません。

縦横無尽に広がる亜炭坑空洞 シールドトンネル工事で崩壊する危険はないのか

JR 東海の亜炭鉱対策

- ① シールドトンネル工事に当たって、「地質調査を実施してトンネル近傍の亜炭鉱や空洞の状況を明らかにするとともに、必要に応じてトンネル掘削時にはトンネル前方の空洞を調査して、空洞が存在する場合は必要に応じて前方からの充填工法を考えている」（2015 年 7 月 27 日工事事務所にて回答）
- ② 文献調査の結果、亜炭坑跡は最も深いもので 50m であることを確認、トンネルは 60m 以上深い位置に計画した。
- ③ ボーリング調査では地表面から 20m～40mで確認されたがトンネル近傍では確認できなかった。
- ④ シールド掘削時にトンネル近傍に空洞が存在しないことを確認するため弾性波探査（探査範囲 14m）や必要に応じてボーリング調査を行う。

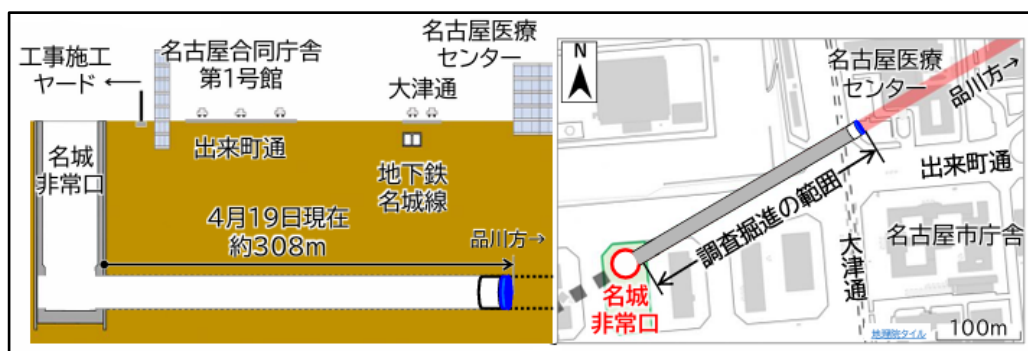
JR 東海の対応について

- ① 弾性波探査（探査範囲 14mで直近 15mに亜炭鉱廃坑があってもわからない）を行って、手探りで東神明町⇒春日丘高校の南側⇒中部大学地内⇒不二ガ丘住宅地内⇒東名高速道と亜炭鉱廃坑が眠っている地下を掘り進んでゆく。
- ② 空洞があれば埋め戻すと説明していますが縦横無尽に広がる空洞を埋め戻すことはできません。（岐阜県御嵩町など、各地にある亜炭鉱空洞は埋め戻すことができていません）
- ③ 東名高速道までの 3 キロ区間のトンネル地盤は固いため（最大で N 値 316）、シールド掘削時における振動が増幅します。振動に誘発されて亜炭鉱廃坑が陥没する可能性について JR 東海は検証していません。
- ④ 外環道ではシールド機が通過してから 3 か月後に住宅地が陥没しました。シールド機の振動の誘発を受けて亜炭鉱の陥没が数カ月たってから起きることが考えられます。
- ⑤ 陥没が「経年劣化によるものか」「リニア工事によるものか」、JR 東海は「工事に関係ない」と否定に回ることが考えられます。
- ⑥ シールド機による事故は各地で起きています。事故を受けて JR 東海はルート上両側 40m で家屋調査を行っています（住宅に異変が起きたら調査結果と比較して検証するために）。外環道ではトンネルから 100m で住宅にひびが入る異変が起きました。JR 東海はなぜ調査範囲を 40m に限定しているのか現実的ではありません。
- ⑦ JR 東海は 40m 以深は地上に影響はないから地上権の設定は行わない、住民に無断で、亜炭坑の空洞があってもお構いなしにリニアルートを設定しています。
- ⑧ 何が起きてもおかしくないリニア大深度地下シールドトンネル工事。JR 東海は被害があれば補償するといいますが、元通りに戻すことはありません。住民は不当なリスクを一生背負わされることになります。

名城工区ではシールド調査掘進工事が終了しました。 本掘進は 12 月から？

2024 年 4 月から調査掘進を開始して 2025 年 4 月 21 日に終了 予定より半年遅れています。

JR 東海は、調査掘進を当初 6 か月予定していたが粘性土が多く土の搬出に時間がかかったと説明しています。事前に行ったボーリング調査をもとに作成した地層図では、名城非常口 JR67 地点⇒間隔 570m⇒名古屋高等検察



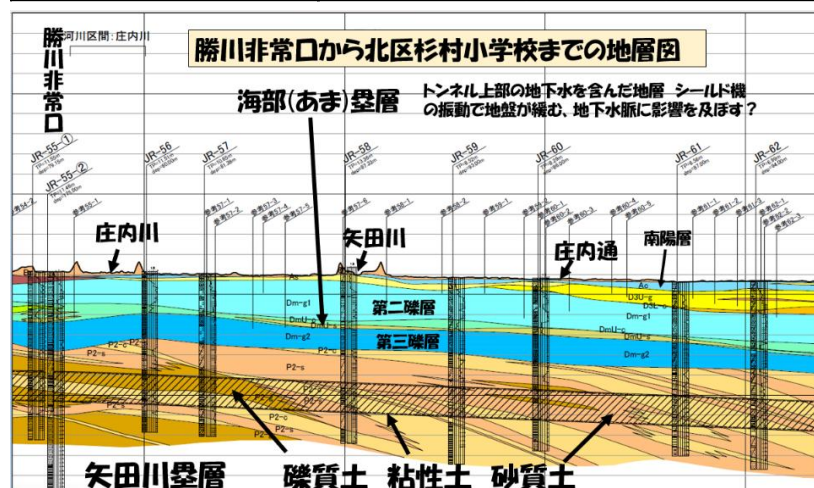
庁 JR66 地点は礫質土となっていました。この間のボーリング調査は技術指針 200m の 3 倍の 570m と広くて把握できない。その結果、「掘削してみたら粘性土であった」というわけです。

JR 東海は調査掘進の確認結果に関する説明会を 8 月 1 日（金）15 時 00 分～20 時 00 分 8 月 2 日（土）11 時 00 分～16 時 00 分 北生涯学習センター4 階第 4,5 集会室で「オープンハウス型」で行いました。

会場にきた住民から「シールド機掘削時の振動は大丈夫か」の問に対して、JR 東海は「住民から振動で苦情が出ることを懸念している」と説明していました。本掘進は 2025 年末からが始まることになっています。

名城工区は外環道と同じ泥土圧シールド工法で掘削します。この区間では 13 本のボーリング調査を行っています。

技術指針200m	勝川非常口	5.8キロ	名城非常口
ボーリング地点名	JR55-2～JR67		
技術指針200m以内	0		
指針守られていない	230m～620m= (5800m)		



すが、技術指針 200m に近いのは JR66⇒230m⇒JR65(明和高校)の 1 か所だけで、残りの 12 箇所は 390m から 800m と技術指針を満たしてはいません。間隔が広いと地盤の状態を把握できません。ずさんな調査のまま工事を行うことになれば、外環道工事ではシールド機の振動でトンネル上の 1000 戸余の住宅にひび割れ、地割れ等の被害を広がっています。同様の事故が起きることが懸念されます。工事を進める JR 東海の対応が問題になります。

JR 東海が示した地層図「左図」ではトンネル上層部は地下水が豊富な、第二礫層・第三礫層の下を掘り進みます。シールド機からの振動で地下水脈が破損されないか心配されています。

ボーリング地点	ボーリング地点名	地点間距離m	ボーリングの深さ	土被りm	トンネル地盤強度	トンネル地盤の地質
JR67	名城東小公園 名城非常口内		160m	68.51	N49	Φ40×50玉石混り砂礫 Φ10×30礫 シルト混砂礫
		570m				
JR66	三の丸4 名古屋高等検察庁の北		100m	71.37	N121	2Φ×10礫 砂礫 シルト混り細砂
		230m				
JR65	白壁町 明和高校敷地		90m	72.62	N32	砂混り粘土 固結シルト 砂質シルト
		365m				
JR64	清水1丁目青山ビル西		90m	62.97	N54	細砂 シルト混り細砂 固結シルト
		450m				
JR63	大杉小学校南 大杉公園		96m	59.53	N34	固結シルト 5Φ礫混じり砂
		680m				
JR62	生駒町6丁目さくら荘の西		94m	59.53	N45	砂混り固結シルト 固結シルト シルト質砂
		400m				
JR61	若葉通2丁目交差点		87m	59.53	N68	砂混り固結シルト シルト質砂
		750m				
JR60	中部電力北営業所の東		86m	56.45	N117	2Φ×30 礫 細砂 砂礫 砂
		430m				
JR59	上飯田北町上飯田第一総合病院東		83m	55.09	N48	2Φ×10 礫 礫混り砂 砂混り固結シルト
		520m				
JR58	市営瀬古荘南矢田川べり		87.3m	57.21	N39	礫混じりシルト 固結シルト シルト質砂
		680m				
JR57	瀬古3丁目DNF中部の南交差点		81.3m	52.02	N64	2Φ×30 礫 固結粘土 砂礫
		300m				
JR56	中部電力名北変電所278キロ地点		80m	51.89	N59	2Φ×40 礫 固結シルト 砂礫
		480m				
JR55-2	勝川非常口東側		175m	50.77	N64	2Φ×30 固結シルト 砂礫

瑞浪市大湫町 JR 東海トンネル湧水で 地盤沈下は止まらない 事態は深刻に。

トンネル湧水量は昨年 4 月時点で 22.5 リットル/秒であったのが 7.5 リットル/秒まで減ったが 2025 年 7 月時点で 11 リットル/秒まで増えています。地盤沈下で水田が傾き水張りが低いほうへ流れて難しくなった。

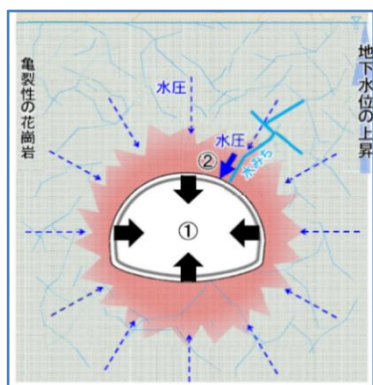
大湫町 地盤沈下 2024年 5月末から測定 (センチ)															
測定地点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
24.9.23	1.8	1.7	1.8	—	0.9	1.0	1.1	1.6	1.5	1.3	0.9	—	3.7	3.1	2.0
25.1.15	3.9	3.7	3.8	2.0	2.9	3.0	3.3	3.8	3.9	3.5	2.7	1.6	7.7	6.2	4.2
25.4.23	5.9	5.5	5.7	3.0	4.1	4.2	4.7	5.2	5.2	5.0	4.0	2.9	10.5	8.1	5.5
25.7.16	7.4	6.9	6.6	3.4	4.8	4.8	5.0	5.5	5.5	5.6	4.4	3.0	11.1	8.4	5.7
測定地点	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
24.9.23	—	0.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25.1.15	1.8	1.1	—	0.7	—	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	—	—	—	0.8	0.6
25.4.23	2.1	1.8	—	0.8	—	0.9	0.6	0.8	1.4	1.4	—	—	—	1.1	1.0
25.7.16	2.1	1.8	—	0.7	—	0.7	0.6	0.8	1.4	1.5	—	—	—	0.7	0.8

25.6.6 岐阜県環境審査会地盤委員会 JR 東海は止水工事を行わないと表明。

2024 年 7 月 25 日、鹿児島県「北薩トンネル」全長 4850m（2018 年 3 月に供用を開始）で、路面が隆起する。トンネル壁面が崩れる。土砂が流出するなどの事故が起きたことを受けて、JR 東海は 24 年 8 月からセメントを注入する止水工事（北薩トンネルと同じ工法）を準備をしていたが、「セメント注入工法による止水工事はリニアトンネルの崩壊を招く事態が起きかねない」との理由で、今後、止水工事は行わないと 2025 年 6 月 6 日岐阜県環境審査会地盤委員会で表明。代替え水源として、井戸（深さ 170m）を大湫小学校跡地に掘ると説明した。地盤沈下は地下の岩盤のところまで圧縮沈下した段階で収まる。

トンネル工事の再開については、まだそんな状況ではないと言明。

6 月 3 日に行われた住民説明会では、地域住民の皆さんからは「本注入をしないのは JR 東海だけの判断で行ったのか、広く専門家の意見を聞いた上での結論なのか」「結論を出すには時期尚早ではないか、可能性を求めるべきではないか」「何とか湧水は止められないか、湧水を止める方法は本当にないのか」「しっかり検証してほしい」といった質問があった。

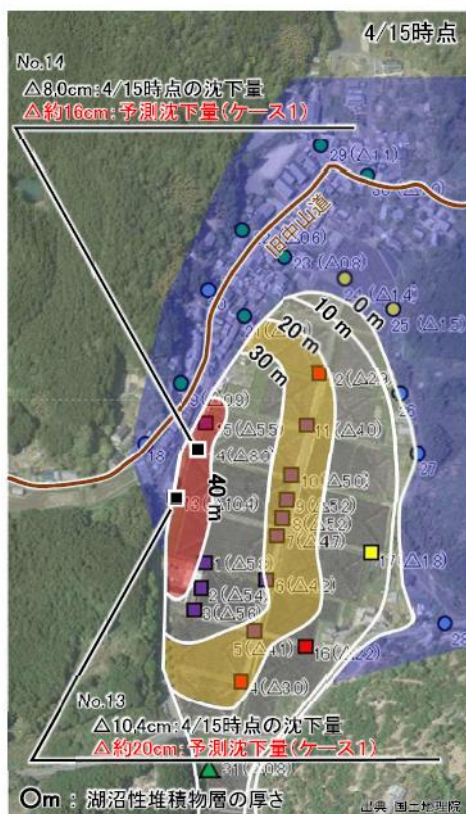


地下水圧にも耐えられない(リニアトンネル)南アルプスの土圧・水圧に耐えられるか？

瑞浪大湫町のトンネル工事（土被り 140m・南アルプスの 10 分の 1）で、地下水圧にも耐えられないことが明らかになり、リニア新幹線トンネル工事の危険性が浮き彫りになりました。

静岡工区では地下深くでトンネル工事が行います。南アルプスは「前人未踏の領域」と言われるほどの難工事になると言われています。土被り 1400m（地表からトンネルまでの距離）ではトンネルにかかる土圧が大きくなります。トンネル掘削時には、NATM（トンネル掘削機）を押し出してしまうほど地下水圧が大きくなります。リニア開業後、トンネルが崩壊する危険はないのでしょうか！？

大湫町の地盤沈下はさらに進む 今後について



- 各種調査から推定した湖沼性堆積物の厚さを基に、図に示す①～③のエリアに分け、それぞれのエリアにおける今後の地表面低下量を予測しました。
- ③赤色エリアでは、今後、8～16cm沈下が進行する可能性があり、最も沈下量が多いNo.13(消防センター付近)では、今後、10～20cm程度沈下が進行する可能性があります。
- 一方、湖沼性堆積物層が存在しない①青色エリア(旧中山道沿いのエリア)では、今後沈下は進行しないと予測しています。

それぞれのエリアにおける今後の予測沈下量

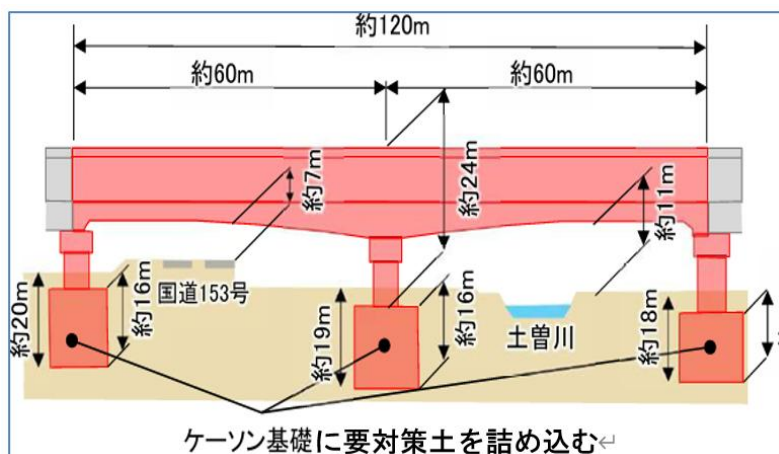
湖沼性堆積物層厚さ	4/15時点の沈下量 (平均) A	予測沈下量 (平均) B	今後進行する 沈下量(平均) B-A
① 青色エリア 湖沼性堆積物層なし	△1.0cm	△1cm	0cm
② 黄色エリア 20m～30m	△4.3cm	△約9～13cm	△約5～9cm
③ 赤色エリア 40m～50m	△8.0cm	△約16～24cm	△約8～16cm

JR東海は環境保全より、リニア工事を優先。

JR 東海は、事前に「本線トンネル工事の施工に先立ち、事前に先進ボーリング等、最先端の探査技術を用いて 地質や地下水の状況を把握、必要に応じて薬液注入を実施する。覆工コンクリート、防水シートを設置することで地下水への影響を低減できる」対策を行うことになっていましたが、保全対策を取らないままトンネル工事を優先して進めてきた結果、大湫町に影響を広げています。このままトンネル湧水が収束しなければ、大湫町盆地を取り巻く自然と山体の水が損なわれ、風光明媚な中山道、大湫町が失われることになります。工事を再開すれば地盤沈下区域はさらに広がる考えられます。今後のリニアトンネル工事では環境影響対策は機能しなくなり、工事による影響を低減できなくなり、自然、生活環境への影響が広がることは必至です。

JR 東海はリニア長野県駅 高架橋ケーソン基礎に要対策土(ヒ素など)を詰め込む。

地震・台風水害などで橋脚基礎が破損すると河川が汚染される恐れ。



JR 東海は、リニア長野県駅の土曾川橋脚のケーソン基礎にトンネル工事で出た基準値をこえるヒ素などを含む要対策土 5000立方メートルを詰め込む工事を飯田市で行っています。リニア中央新幹線トンネル工事で出た要対策土は、大鹿村の仮置き場に置かれています。2027年度までに3本の基礎の中詰め材に使うと説明しています。県環境影響評価技術委員会では「地震などで基礎が損傷し、要対策土が地下水などに漏れ出すリスクを考えないといけない」と

いった安全性への指摘が相次いでいます。飯田市リニア沿線住民らでつくる「リニアから自然と生活環境を守る沿線住民の会」は「現場周辺は人家や水田地帯。重金属による水質汚染などが懸念される」「後の世代にも大きな問題を残す」長野県駅（長野県飯田市）の工事で、基準値を超える重金属などを含む「要対策土」を使わないよう、現場近くでプラカードを掲げ、搬入に抗議を行いました。

JR 東海は豊丘村に「要対策土を持ち込まない」と説明していた。 一転して 本山発生土置き場に要対策土を搬入すると表明。

2025 年 1 月 30 日 JR 東海は坂島トンネル工事の発生土（要対策土）の活用先に豊丘村の「本山発生土置き場」が最適と表明しました。JR 東海は 2019 年 8 月に「本山発生土置き場には自然由来の重金属を含む発生土は搬入しない」と説明していました。

本山発生土置き場は坂島工事ヤードから 3.5k の地点にあります。最上部は標高 950m 下部は標高 800m 傾斜 17% の急峻な谷あいには発生土 130 万立米（要対策土は 1.5 万立米）をダンプで搬入して積み上げるといいます。発生土置き場には活断層があることが明らかになっています。地震や大雨が降れば発生土（要対策土）は土石流と化して本山からサー

ースケ洞⇒蛇川へと住民が住む下流域に流れこみます。本山は住民の水源地になっていて、汚染する事態が起きます。

JR 東海が進めるトンネル工事、各地で被害をもたらしています。 明知町では 2021 年から、トンネル工事の影響が起きている。4 年経過 今の状況は

2021 年（令和 3 年） ◎明知町地内でトンネル工事のダイナマイトによる発破工事の影響がひろがった。

「ドーンと家が揺れて腰が抜けた」「風呂の水が揺れてあふれた」「昼間、畑で作業中に揺れた」

「ドドドと音が夜の 1 2 時ごろまで響いて眠れなかった」「夜、発破音と振動で起こされた」

注) 2,021 年度（令和 3 年）に保守基地線トンネル接続部から（約 200m）国道 19 号線の下をまたぐ形で本線トンネル工事が行われた際にダイナマイトによる発破工事が行われた。明知町地内の市民球場まで影響が広がっています。国道 19 号線直近には住宅地が密集していて、住民からの苦情で JR 東海は夜間工事をやめています。

2022 年（令和 4 年）6 月ごろ

◎明知町地内の D 宅 井戸水が濁った。

◎神屋団地の事業所 井戸水が濁った。製品製造に差し障りがあるため。数千万円でろ過装置を設置した。

2023 年（令和 5 年）はじめ

◎神屋団地の事業所の建物の壁にひびが入っているのに気が付いた。床も凸凹になって水平でなくなっていた。JR 東海に来てもらう。役員会の会議記録、社員の報告書を提出して説明したが「自然現象」と言って帰った。

注) 井戸の濁り、建屋にひびが入った。ダイナマイトによる発破工事が原因と思われますが JR 東海は関係ないと言っています。

2024 年（令和 6 年）2 月ごろ

◎A 宅 井戸の水位が低下した。井戸のポンプが砂を噛んで壊れた。池の底が見えるくらい湧き水の水位が下がった。JR 東海に見てもらったが「自然現象」と云われた。

◎B 宅 井戸の水位が低下 庭の池の水位が下がった。

注) JR 東海は 2024 年 2 月の井戸の水位低下、湧き水の減少を自然現象と言っていますが 2023 年の 1 年間降水量は前年 2022 年よりも 19% も多く、JR 東海の（自然現象）の指摘は当たりません。

2025 年（令和 7 年）2 月

◎A 宅 井戸の側壁が崩れて埋もれた。井戸が枯れた。湧き水の池枯れた。鯉が死んだ。

「井戸は明治のころから昭和の初めまで紡績工場で使われていた。これまで枯れたことはなかった」

◎ B 宅 庭の池の水位が下がった。田んぼに水をはるための井戸(湧き水)が枯れた。

◎ C 宅 畑の水やりに使っている井戸が枯れて使えなくなった。

2025 年（令和 7 年）4 月 1 5 日 本村議員の質問に（古川副大臣）が回答

明知町地内では令和 7 年 2 月ごろから 3 月にかけて井戸の水位の低下に関する申し出が 1 2 軒あった。

2025年3月以降、毎月下旬にA宅とB宅を訪問、定点観測(水枯れ状況)を行いました。



2025 年 3 月 3 日 ◎ A 宅を訪

問、この時の湧き水の池は

◎ A 宅 池は枯れたまま。

鯉は水道水の仮池にいました。

◎ B 宅 池の水位 6 割 緑色

(コケ) に濁っていました

左の写真

2025 年 4 月下旬

◎ A 宅・◎ B 宅 池の水 降水量が増えている影響か？緑色少し残り濁っている。湧き水戻ったのかどうか不明
井戸水水位 8 割 田んぼの湧き水出ている

2025 年 5 月下旬

◎ A 宅・◎ B 宅 池の水、水位 9 割 濁っている。井戸水水位 8 割。 田んぼの湧き水出ている

2025 年 6 月下旬

◎ A 宅・◎ B 宅 池の水 水位はほぼ戻るが 4 月 5 月と変わらず濁っている。井戸水水位変わらず。田んぼの湧き
水出ている ◎ C 宅 井戸水枯
れたまま戻らない



2025 年 7 月下旬

左の写真

◎ A 宅・◎ B 宅 池の水 6 月
より透明度よくなるが、まだ濁
っている。井戸水は変わらず。田
んぼの湧き水は出ている

トンネル工事に伴うダイナマイト発破工事について、JR 東海に愛知県知事が意見。

平成 26 年 3 月 25 日 発破作業に伴って発生する騒音及び振動の影響について、愛知県知事意見

【JR 東海は「確実に低減できること」を理由に調査、予測及び評価を行っていないが、確実に低減できるとした理由を具体的に示すこと】

JR 東海の回答 春日井市東北部の山岳トンネル部で行う予定の発破に伴う騒音及び振動については、山梨リニア実験線の建設及び 「あんな発破こんな発破 発破事例集」(平成 14 年 3 月、日本火薬工業会)に示されている他の事例等から、適切な火薬量による発破工法の採用、防音扉の設置又は影響が生じる可能性のある箇所では機械掘削工法を採用する等の適切な工事計画により低減させることができます。さらに発破を行う時間帯の制限等により周辺住民への影響を低減できることから影響は小さいと考えています。

西尾工区の工事では令和 3 年から令和 6 年の間、発破作業を行なっていましたが、騒音及び振動は低減できていません。住民からは苦情が出て夜間工事が中止されています。

私たちは愛知県に愛知県環境影響評価審査会を開いて発破工事の検証を行うよう対応を求めましたが

愛知県環境影響評価審査会は、愛知県環境影響評価条例に基づき、環境影響評価の各手続段階において、環境の保全の見地から知事意見を述べるに当たり審査等を行うものであり、ご指摘の内容は審査の対象ではない。

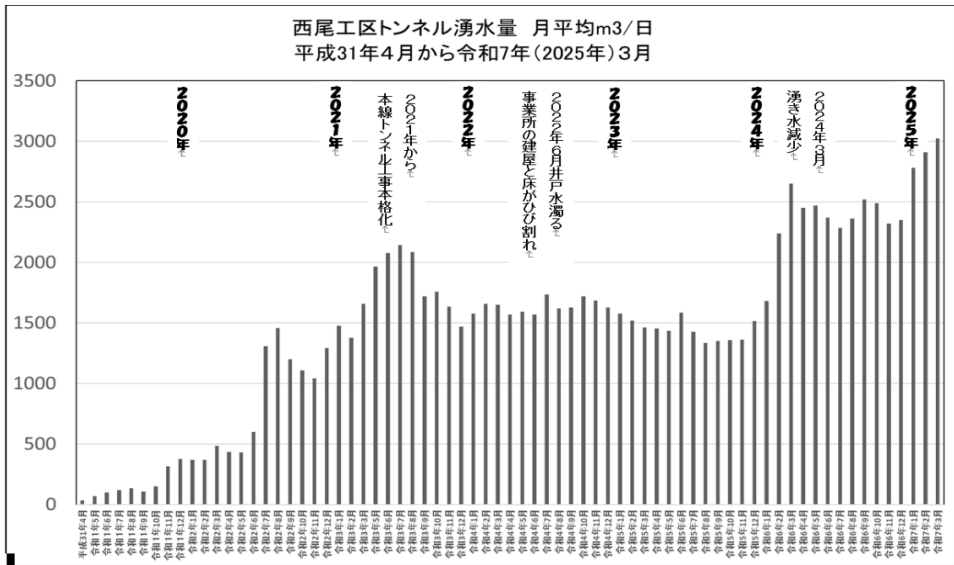
JR 東海は「低減できる」と言いますが、発破工事で被害が出ているのに、愛知県は審査の対象ではないと突き放しました。環境影響審査会は何のためにあるのか。愛知県は県民の生活環境を守ることを投げ捨てています。

西尾工区 2020 年～2025 年までトンネル工事の経緯を表にしました。

6 ページに示したように 2021 年ごろからトンネル工事の影響が出ています。下の表を参照

西尾工区進捗状況	令和2年（2020年）	令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）	令和6年（2024年）	令和7年（2025年）
本線トンネル 4500m		本線トンネル掘削開始・非常口接続部から2割700m	非常口接続部から6割 1900m	非常口接続部から7割 2200m	8割 約3,400m	愛知・岐阜県境までの450mを掘削する。本線トンネルと保守トンネル接続部を広げる工事を行う
		本線トンネル保守トンネル接続部から200m掘削				保守基地線トンネル接続部（本線トンネル約200mの地点）から神屋町本郷までの900mは手掘りトンネル工事を行う。2031年に完了予定。
保守基地トンネル 2.2k	保守トンネル8割 2100m	保守トンネル8割 2100m	保守トンネル9割 2200m	保守トンネル 完了		
非常口トンネル 800m	非常口トンネル 800m 完了					

西尾工区のトンネル湧水は年々増え続けています。（下図と左図参照）自然・生活環境への影響が起きていないか。内津川に流れ込む西洞川の水量が増えているとの情報が寄せられています。



トンネル湧水月平均/日m3	
2020年3月	483
2021年3月	1658
2022年3月	1650
2023年3月	1460
2024年3月	2650
2025年3月	3025

愛知県内から出る要対策土（ヒ素・フッ素、美濃帯・カドミウムなど重金属含有）は、武豊町にある愛知臨海環境整備センター、または可児市と東海市の最終処分場に運ばれています。

愛知県内リニア事業発生土の処分先 JR東海の環境調査の結果から（毎年6月に公表）					
	瀬戸珪砂組合	民間砕石場埋立	公共事業	その他	要対策土
平成30年（2018年）	2万m3		1万m3（H30）	5万m3（木田）	
令和1年（2019年）	6万m3		10万m3	1.7万m3（愛西市）	8000m3
令和2年（2020年）	13万m3	11万m3	10万m3	2万m3（大府）	
令和3年（2021年）	10万m3	13万m3	5万m3		1万m3
令和4年（2022年）	7万m3	19万m3	6万m3		1万m3
令和5年（2023年）	0.3万m3	9万m3	3万m3		1万m3
令和6年（2024年）	3万m3	12万m3	5万m3		2000m3